

2016 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	国際教養学科	科 目
-----------	--------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

今回の評価すべき点は、まずは、昨年度秋学期に引き続き、対象クラスすべてにおいてアンケート調査が実施され、実施率 100 パーセントを継続して達成したことである。専任教員は当然のことながら、コントラクトティーチャーにもアンケート実施の意識付けを徹底することで、学科全体としてこのような結果が出たことは喜ばしいことである。今後も継続していきたい。

すべての設問においての結果が、全学評点平均値を上回っていることも評価に値する点である。

全受講者中の回答率が、文系の学科としては最も高く、また全学でみても 2 番目に高い回答率で、各授業での受講者（本学科学生）の出席率の高さがその要因であると推察される。

DWCLA10 に関する質問項目に対しての評価は本学科は特徴的であり、多くの項目で全学選択率を上回る結果は例年のことであるが、特に、「プレゼンテーション力」と「コミュニケーション力」の獲得に関しては、他学科と比較しても群を抜いて高く、全学選択率を大幅に上回っている。学科の時系列の比較においては、全般的に一進一退を繰り返しているところがあるので、今後、さらなる進歩につながるよう比較的数値の低い項目に関しては、原因の追究と授業方法や内容の改善を検討していきたい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育開発支援センター